

大船渡発

工事完了で閉所式

震災で壊れた大船渡港の湾口防波堤の復旧工事が完了し、国土交通省の釜石港湾事務所大船渡出張所が3月31日に閉所することになりました。これを前に閉所式が行われました。出張所は2012年に



開設され、津波で大きな被害を受けた湾口防波堤の復旧工事を担当しました。式典で戸田公明大船渡市長は「防災

施設の要である湾口防波堤の完成で再建が進む新たな市街地形成が大きく前進する」と挨拶しました。(3/29 ニュースエコー)

陸前高田発

被災地で日本一の歌声を披露

全日本合唱コンクールで2年連続日本一に輝いた不来方高校音楽部の生徒31人が仮設の建物で診



療が続けられている県立高田病院の待合室で歌を披露しました。音楽部は震災の年からこうした

活動を行っていて、集まった人たちからは大きな拍手が送られていました。(3/30 ニュースエコー)

釜石発

災害エフエム局 閉局

震災の直後2011年4月11日から市民に情報を届けてきた釜石市の災害エフエム局が、役割を終えたとして3月31日で放送を終了しました。当初



は避難所や被災者への支援に関わる情報を中心に放送し、その後は行政からの広報や暮らしの情報を中心に午

前と午後の2回、番組を生放送してきました。災害エフエム局は東北の被災3県で24の市町村が運用しましたが、廃止やコミュニティエフエムへの移行が進み、新年度は陸前高田市と気仙沼市、それに福島県の2局を残すのみとなります。(3/31 ニュースエコー)

宮古発

こころのビタミンプロジェクト

世界で活躍する指揮者・佐渡裕さんが芸術監督を務める兵庫県のスーパーキッズ・オーケストラが被災地の宮古でクラシックや映画音楽の名曲を披露し



ました。このコンサートは震災の年の2011年8月から復興を願って行われているもので宮古では2回目です。

ステージでは宮古の小中学生との共演も行われたほか歌手の華原朋美さんも登場して会場は華やかな雰囲気になりました。(4/2 ニュース)

宮古発

三陸鉄道で入社式

三陸鉄道は、開業以来最も多い6人の新入社員を迎えました。2年後の2018年度末に不通になって

いるJR山田線の宮古～釜石間がJRから経営移管されることが決まったことから採用増となったものです。新人6人は明日から現場



に出て、運転士の候補生や施設係としてそれぞれ研修を積んでいきます。(4/3 ニュースエコー)

大船渡発

さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

4月5日、開局4周年を迎えた大船渡「FMねまらいん」の及川透子さんが、午前10時から午後2時まで行われた開局記念生放送番組について伝えてくれました。番組ではリスナーに直接電話をしたり、ねまらいんにゆかりの人達と電話を繋いで当時の思い出話を聞いたりしてこの4年間を振り返ったということです。またお寿司を注文し陸前高田市から配達をしてもらうという企画や5人の女性パーソナリティによる1時間の女子会コーナー、桜の情報など盛りだくさんの内容で及川さんは「これからも皆さんが笑顔になれるような番組を作りたいです」と話していました。(4/5)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122